

# 経営加速の鍵： 実験計画法（DOE）の導入

最小限の試行で最大限の成果を得る科学的経営アプローチ

$$Y = f(X_1, X_2, \dots, X_n) + \varepsilon$$

# DOEがもたらす3つの経営インパクト



## 開発スピードの向上

直交表等の活用により、従来比で実験回数を大幅に削減。製品の市場投入（Time-to-Market）を劇的に早めます。



## 品質の安定化

外部環境の変化に強い「ロバスト設計」を実現。製造現場の不良率低減と、顧客からの信頼性向上を両立させます。



## コストの最適化

無駄な試作費や人件費を抑制。データに基づき、利益率を最大化する「黄金の条件」を科学的に特定します。

# 成功への導入ステップ



STEP 1

## 課題の特定と目的定義

解決したい経営課題（歩留まり、リードタイム等）と評価指標を明確化します。



STEP 2

## 要因の選定と効率的計画

結果に影響を与える「要因」を洗い出し、最適な実験デザインを策定します。



STEP 3

## データ分析と標準化

分析から得られた「最適条件」を現場の標準作業へ落とし込み、成果を定着させます。

